

密閉式容器

密閉した状態で働く有用微生物群（EM菌）の活動を利用する方法です。密閉式なので虫が発生しづらく、屋内でも使用できます。併せて発酵液が生成されるので、水で薄め活用できます。生ごみの量はあまり減りません。

用意するもの

- ・ 密閉式容器



- ・ EM発酵促進剤
※ 1袋は助成金の対象になります



- ・ 新聞紙 1枚
- ・ ゴム手袋

使用方法

1 容器の準備

容器の底（目皿があれば目皿の上）に新聞紙を1枚敷き、新聞紙の上に発酵促進剤をまきます（さらっと底が見えなくなる程度）。

2 生ごみの投入

水切りした生ごみを入れ、発酵促進剤を振りかけて、ゴム手袋などを使用してよく混ぜます。



3 空気の押し出し

生ごみを上から押さえつけ、生ごみの間にある空気を押し出し、フタをしっかり閉めます。

4 日々の管理

生ごみが出るたびに2、3を繰り返します。直射日光の当たるような温度変化の大きい場所には置かないでください。漬物のような酸味のある臭いがしたら成功。こまめにコックを開けて発酵液を出します。夏場などで臭いが強く感じるようになった時は、発酵促進剤を多めに使用したり、早めに土に埋めてしまいましょう。



5 堆肥化

処理容器が一杯になったら、そのまま1～2週間寝かせます。その後、生ごみと土を1対4～5の割合で混ぜ合わせ、1～2か月程度熟成させると堆肥化します。

6 発酵液の利用

液体肥料として利用する場合は100～1,000倍に、配水管のヌメリを取る場合などは10～50倍に薄めて使用します。